

2018/06/25

国際文化学部国際文化学科 3 年

16011004 市木陽

中国のモバイル決済

1. はじめに

第1回のレポートで少し触れたように、中国はキャッシュレス化が非常に進展している国の一つであり、スマートフォンなどのモバイル機器による電子マネーでの決済が主流である。

例えばスマートフォンを QR コードにかざすだけで買い物や様々な支払いができたり、交通機関を利用できたりする。実際に私も利用しているが、非常に便利な機能であると実感している。日本人のように現金を持ち歩く必要がないだけでなく、カードで財布が膨らむこともない。また、モバイル決済をすることでポイントが貯まるなど、それに付随する各種サービスも用意されている。

今回のレポートでは、キャッシュレス化が急速に発展している中国のモバイル決済、特に私が実際に使用しているスマートフォンアプリによる決済に焦点を当て述べていく。

2. スマートフォンアプリ決済が普及した背景

現在、中国では Alipay（支付宝）と WeChat Pay（微信支付）という二つのアプリケーションを利用したスマートフォンによる決済が主流である。中国で Alipay と WeChat Pay が急速に普及した要因の一つとして挙げられるのは、Alipay は中国最大の EC サイトであるタオバオ（淘宝）、WeChat Pay は約 9 億人のユーザーを持つ WeChat と、それぞれ巨大なユーザー基盤を持っていたことである。

さらに中国では、偽札の流通や現金の盗難など、依然として治安の悪い地域が多くある。そのような環境の中、現金のやり取りを必要としないモバイル決済は、店側にとっても消費者側にとっても非常に安心感のある決済方法であると言える。

3. スマートフォンアプリ決済の利用

現在、ほとんどの中国人が Alipay や WeChat Pay などのアプリケーションを利用して支払いをしている。外国人である私でさえも実際に頻繁に WeChat Pay を利用して買い物をしており、現金を使うことはほとんどない。スマートフォンアプリによる決済は、それだけ誰でも簡単に利用できる非常に便利なサービスなのである。

さてこれらのスマートフォンのアプリでの決済を利用するにあたっては、まず中国で銀行の口座を開設する必要がある。今年から外国人の銀行口座開設についての制度が変更されたらしく、私が 3 月に口座を開設しようとした時には既に多くの銀行で外国人の銀行口座の開設ができなくなっていた。現在は中国銀行のみ開設が可能となってしまったので、私

も中国銀行で口座を開設した。また口座を開設するために、パスポートやマイナンバー、保険証の番号、身分証明書(運転免許証など)が必要となった。そして銀行口座を開設した後、アプリに銀行口座を登録するとはじめて Alipay や WeChat Pay を利用することができるようになる。

私を使用している WeChat Pay の利用方法には大きく2つあり、アプリで QR コードを読み取り、自身で値段を打ち込み決済する方法と、アプリの中にある自身の支払いコードを表示し、店側に読み取ってもらい決済する方法である。前者は、アプリ内で銀行の口座からお金を引き出し、そのアプリの中にチャージしたお金で支払うという決済方法である。後者は、銀行口座からそのまま金額が引き落とされるという決済方法である。

4. スマートフォンアプリ決済のメリット・デメリット

実際にスマートフォンアプリでの決済を利用してみて、スマートフォンアプリ決済にはメリットとデメリットがあると感じた。

まずメリットの一つとして挙げられるのは、その利便性である。現金で払うときのように財布から細かいお釣りを出す必要もなく、スマートフォンをかざすだけで支払いができる。また、アプリケーション内には、その他の様々なサービスも付随しており、交通機関や宿泊施設、映画のチケットの予約やスマートフォン利用料金の支払いなど、その他の各種サービス利用をすることができる。

このような便利さは、中国国民の消費を促進し、中国経済に更なる利益をもたらしていると考えられる。さらに、スマートフォンアプリ内に月ごとの使用金額を表示してくれる管理機能もあり、お金の使い過ぎを防ぐことができる。

一方でデメリットとして挙げられるのは、スマートフォンを紛失した際に悪質に利用される可能性があるということである。他人に悪用されないために、暗証番号でロックをかけることもできるが、確実に悪用されるのを防ぐことは限らない。また、その支払いの便利さから、いとも簡単に金銭を浪費してしまう。

すなわち現金決済が、財布から現金を自身の手で取り出して支払うのに対して、スマートフォンアプリ決済はスマートフォンをかざすだけという簡単な支払い方法である。現金の場合には、購入する際に使用金額を自己管理することが容易であるが、スマートフォンをかざすだけのスマートフォンアプリ決済は自己管理が難しい。そのため、先にも述べた使用金額管理機能による使用金額を確認して初めて、使用金額に対する自覚を持つことができる。さらに、ゲーム感覚で安易に支払いできるため、お金の存在感・実体感が小さくなっているという感覚もある。

5. おわりに

中国でスマートフォンアプリによる決済が急速に普及した背景には、中国社会や中国人の国民性が関係していると考えられる。上に述べたように、中国社会には偽札の流通や現金

の盗難など、依然として治安の悪い多くの地域がある。約5カ月中国で生活してみて、中国人には面倒なことを嫌い、せっかちな人が多いように感じる。交通ルールを無視した運転の仕方や車間距離の近さ、順番に並んでいる時の割り込みや順番抜かしなど、中国人の面倒くさがりでせっかちな性格が分かる場面に遭遇することがよくある。このような中国社会や中国人の国民性が、さらにスマートフォンアプリによる決済の普及を促進させたのだと私は考える。スマートフォンアプリによる決済は非常に便利であり、中国経済に良い影響をもたらすものである。しかし、その便利さによる自己管理の難しさや金銭の浪費の容易さなどのデメリットも生じているように感じる。

Alipay や WeChat は海外展開も積極的に進めているようだ。日本の一部の地域では、中国人海外旅行者に向けた中国モバイル決済を導入している店舗もあり、今年の2月に大阪を訪れた際には Alipay や WeChat Pay での決済が可能な店舗を実際に目にした。現在も依然として訪日中国人観光客は多い。今後中国モバイル決済の導入が進むことで、日本での中国人観光客の消費にどのような影響をもたらすのか非常に興味深い。また、それが比較的治安が良く、現金社会にある日本の経済にもたらす効果についても興味深いと思う。

<参考文献>

- ・乱立するキャッシュレス 変わるか現金社会

https://www3.nhk.or.jp/news/business_tokushu/2018_0122.html(2018/06/25)

- ・急速に進む中国のキャッシュレス化 モバイル決済は米国の50倍 その背景とは？

<https://newsphere.jp/national/20170513-1/> (2018/06/25)

- ・モバイル決済「アリペイ」日本版に注目、何がすごい？中国発キャッシュレス経済：2018急上昇ワード

<https://www.google.co.jp/amp/s/www.businessinsider.jp/amp/post-159219> (2018/06/25)

- ・中国電子マネー事情

<https://www.google.co.jp/amp/s/www.sankeibiz.jp/macro/amp/171227/mcb1712270500001-a.htm> (2018?06/25)